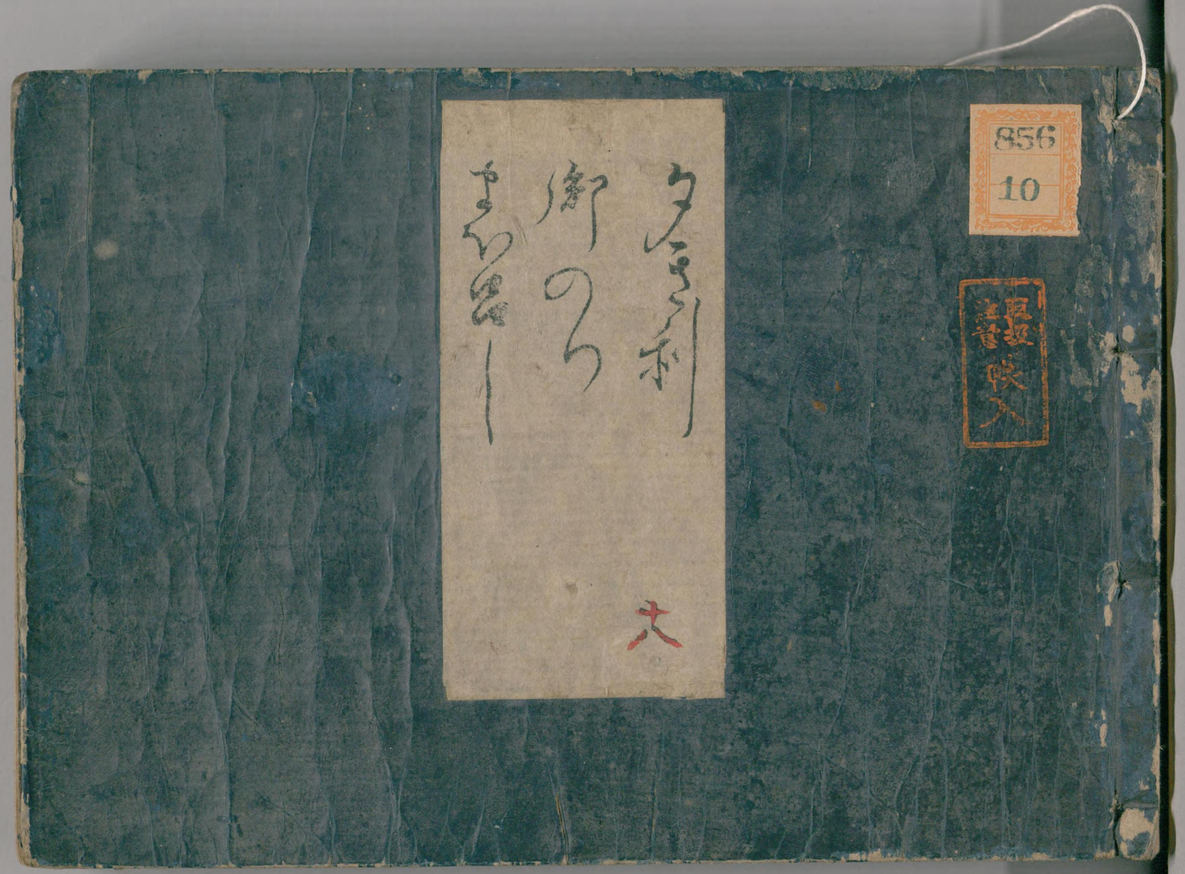
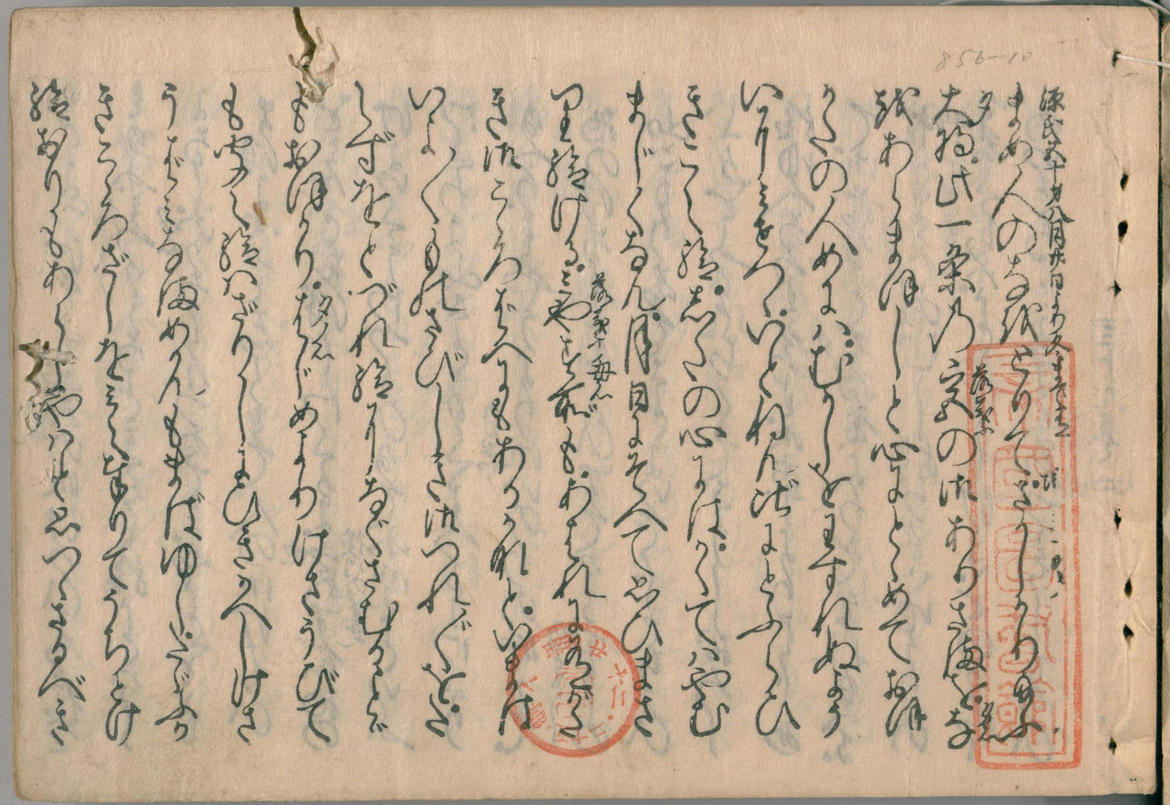


国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 856-10

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 856-10

ガラス使用

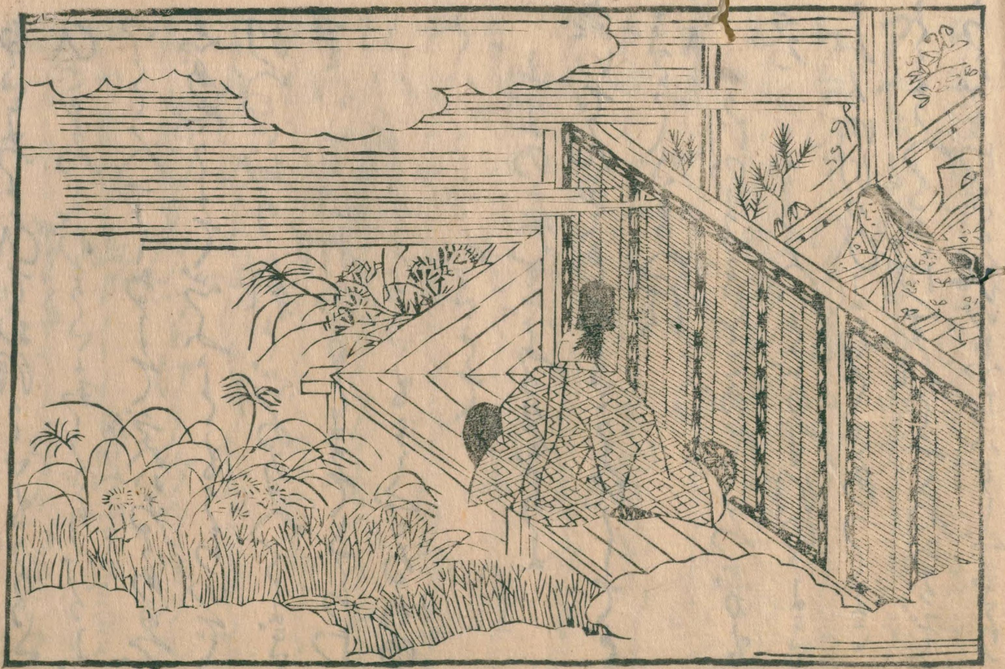
国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 856-10

ガラス使用

らさむとすらむとおぼしたるさまも
つきそかはしきまでこのうちもひさしくいろもあらでうゑたる
おまへの前栽の花どもはかごとばかりをそこゝかしこうゑられたるひしきの水のともをすこしばかりせきやりなどしてやまのいろもすゞしくなりぬるほどにあやしくきりこめられたるやうにてみえんほどもなくおもてさしたるひかりもさやかならねどもものゝいろもひとつにわかれてみえぬほどくもまのけしきもうちのかたはそうもなきものゝこゑもまぎれてきこえぬほどにおもしろきをりかなとおぼしたるにこゝかしこのともしびどもかきけちつゝおまへにもてきたるほどもなくおまへにもてきたるほどもなくおまへにもてきたるほどもなく



三十九ノ六

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

のつゝきおもふらんことはづかしけれバ
そおれがらこるまゝにかゝるみちにも
さそひたまふべきにこそとおもふにも
またくるしきまゝにかゝるみちにも
けずかうのけがれをもしらでかの
おほんこゝろのまゝにあくがれまどひ
てうきねをしつゝ心のまゝなる海
人のけしきをおのがうへにおもひ
なすにもいとどたぐひなき
海のほとりのすまひなれバ
よるのおとよりはじめてことにきこえ
とくさはかりにやとりけりや
けのつまどのけしきもそらと
ひとつにうちなびきたるあしのわかばも
うちわたしてらうたげなるものどもの
るやらんとおぼゆるにやがて
みゆきのくるゝもしらぬ

三十九ノ九

うれたくおもほゆるをりしもあれ
こゝろぐるしきことのみかさなりて
いとゞしくおもひまどはるゝにも
月のかげのみ
さやかにさしいでたるをながめ
ていかにせんとおもひつゞけ
いりぐるの月のかげのやうに
どこともなくうかれありきたき
ものをとおもふにもやすからぬ
のみそこゝろをおよがしける
ちりぢりにひきわかれなどせん
わかれこよなくあはれにおもふ
ことゝもをいひつゞけてもなほ
飽かず世中をいとはしげにおもひ

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

うもそびえうらもおぼすよ心づき
おくて学よも家のもりそ給へん
よともいとうづうまうくろこ
もとうみてもり給へざんよこび
もしねうそもうけのひく
のまれいひうれもを世られべとの
づくきあそそでぞけるこ
ちばえんづくろれべへぐおり
しうくまそしのくすけれおやよくすさ
ぐひそへもしてねぐあれ
どさこそれぶへくちよ
代のくさ給てよとくしま

ろぐかよろくおぼしそぐれんま
ぶさま心ぐろどのひおをそ
いろうんとらみどちこのゐをう
そこのゆうまみのさもおけさ
をおそのべ心もくろそれむば
そうてさをおいざんもおばつる
わうくもやうまぞめんもを覚
てひろげれべおもうるま心も
るさまおうて人ようぞりそて
もあるおうけれびうのお
やもちうひもをおうひやりな
りうしおまうもちぐさあぐ
そろんそうみとくのは
うそりうをあおさろへぐ
びもおくうろうのて
五しのとれるき神よとめ

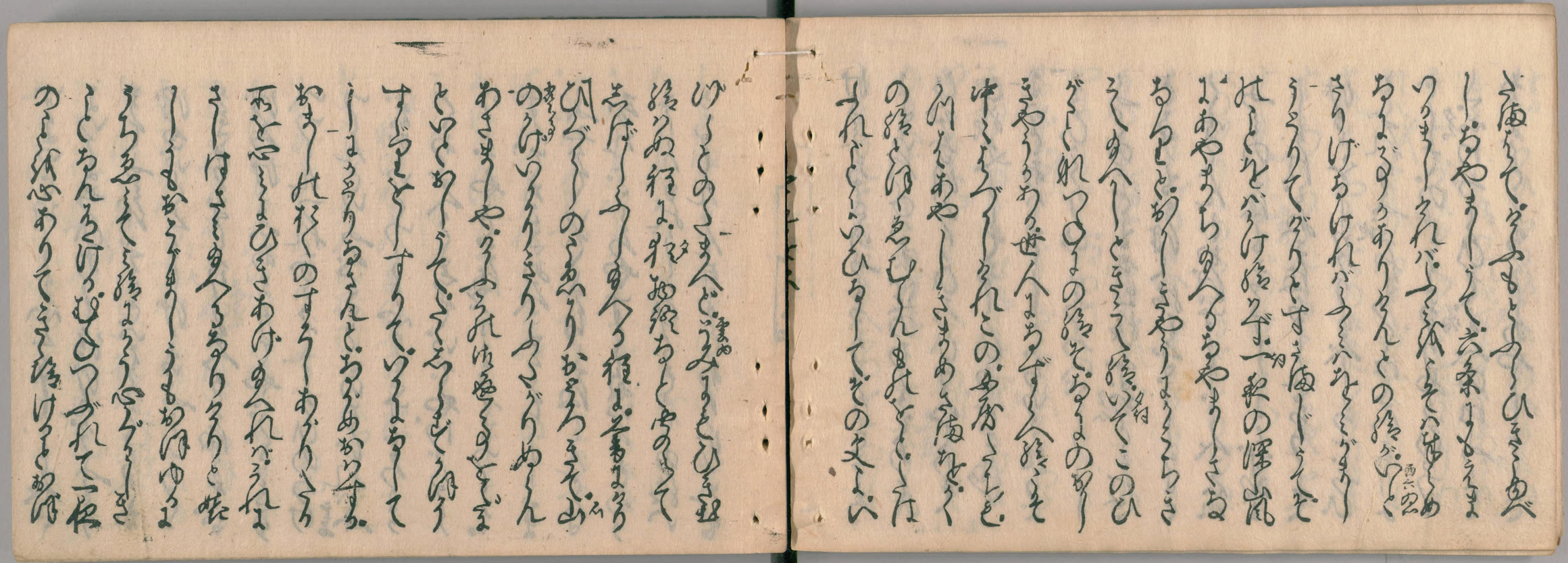
国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

うるわるる人のれいうをもさかる
ぐさはくてとるりるんおそるも
けひろぐをとぐらうりそぐでうひ
つひろるそべうやうさとるぐ
そしょさるくしろるもこねを
ぬへるりろるびやらのまぐひう
ぐうちやをそて對面そんとそうん
ちけうちとまりのへるとうてな
かごぐちつひしをさやうのそと
まりのへるやわんなひくるぐと
まあやうしずくろよ拍しのず人
をおばめのねちぐしい心のうちまさ
かよううやるそんうぐるしぬれる
しうけおりくるれくへのれ海
のつくうぐしうあかぐちうへ
のそろわんうはろぐさすそ

るるしぐちのろうさけやすく
ろわゆるされぬくへあしぐとと
うちとけろそうしへずくちそ
おくみするそしさおそこひりも
やうねそんとおぼをうまうしろぬ
かのちよかねのえをあてうる
ぐるんそうへいるりしうと
そおしくをのれりけさるんくろ
んとけろそをう海をぎりけうさ
しもあしぐとへうなぐしとのねる
へへぐとあれぐありしやうれをち
ぐめうりろけしうさるもげさ
のれ文のそしさうめもけのくこの
そせうやうるぐやしぐ辻西へ
わうりねけろろのうちれやし
ちそんうぐうりまや的そんろへ

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10
ガラス使用

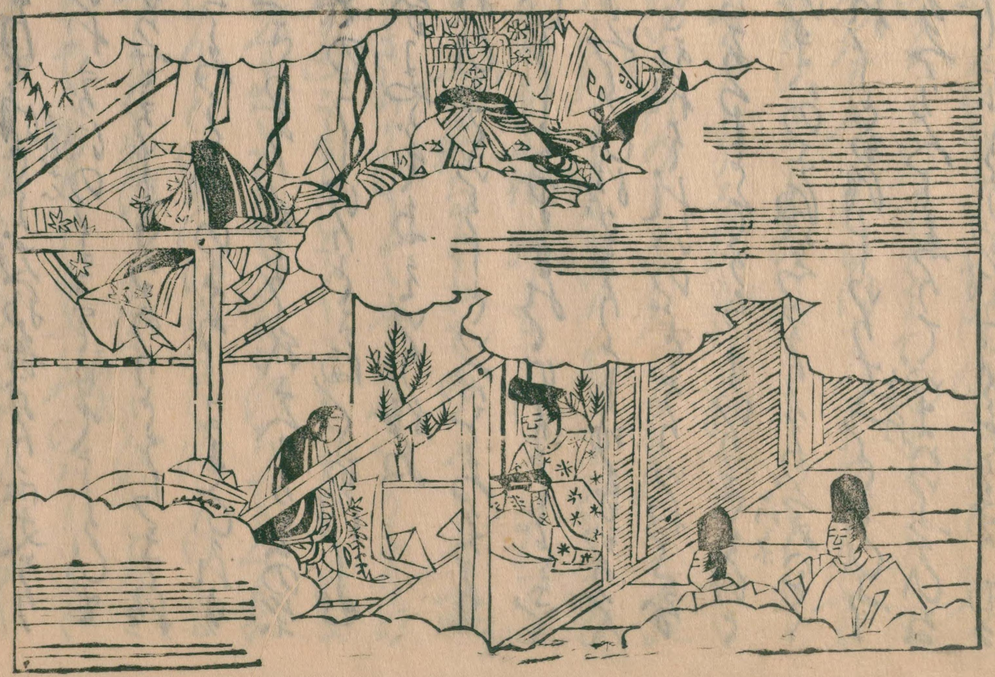


国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 856-10

ガラス使用

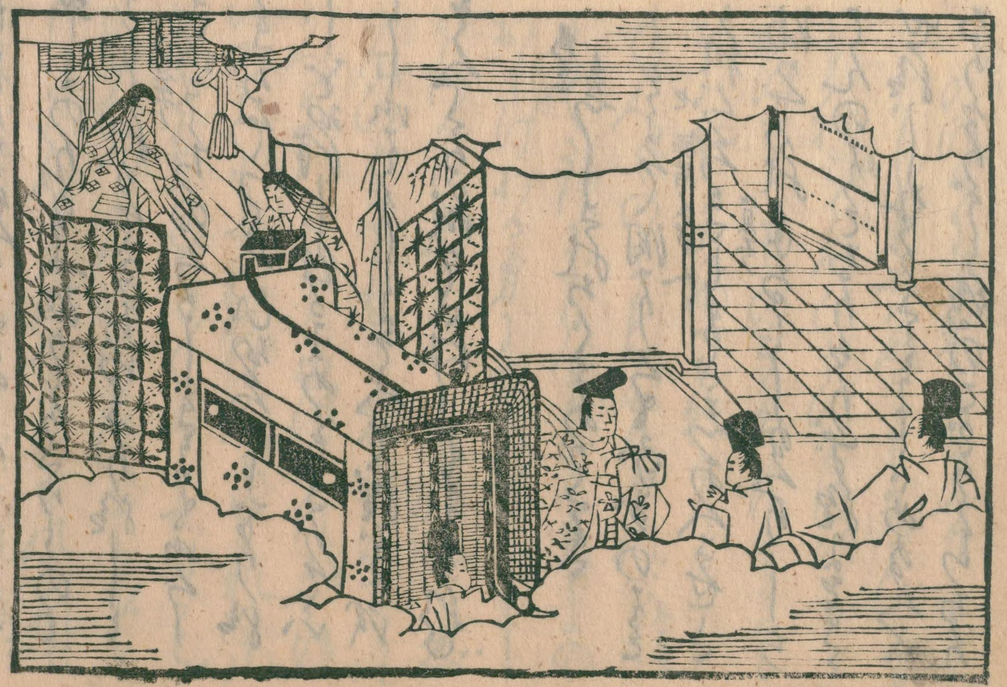
国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

しるすべくもあらず。
われてくだくるもの（ばかりの意）
なれど、語るもおろかなり。
（以）
なほどの御ありさまをも、
（奏）
見たてまつるべき人のありけるかな。
（朱）
（以）
かくれど、光る人のもてかしづきたまふこと、
（奏）
いとかたじけなく、
（以）
ありがたきことにおぼしたり。
（奏）
（朱）
（以）
（奏）
（朱）
（以）
（奏）
（朱）
（以）

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

てなまそらごともちひるやうなるをとこがまへうちもあべいろもそつよ
ゐなどしいこゑとくまでうあはれ
そもさこちして言ひいよ
くつもいくりごよもさうと
てうろわていうちうちごめ
とし給ふ日々(雲のウ)いつ色もまうざり
けるまれいそうまりあでして
昔(タ)うりれうあいこざーのとろる
らざりしい海(ふ)おとくのつくく。
てるし給ふしー世中のこれがまー
さくれとうりしでこへでこれ
んざて言うしこすこそもとこ
しわうりをわまこそすぐこそる
物(ハ)ぬでよさしもあしでとるんへ
そまとこうしへ今ちつまもいでれ

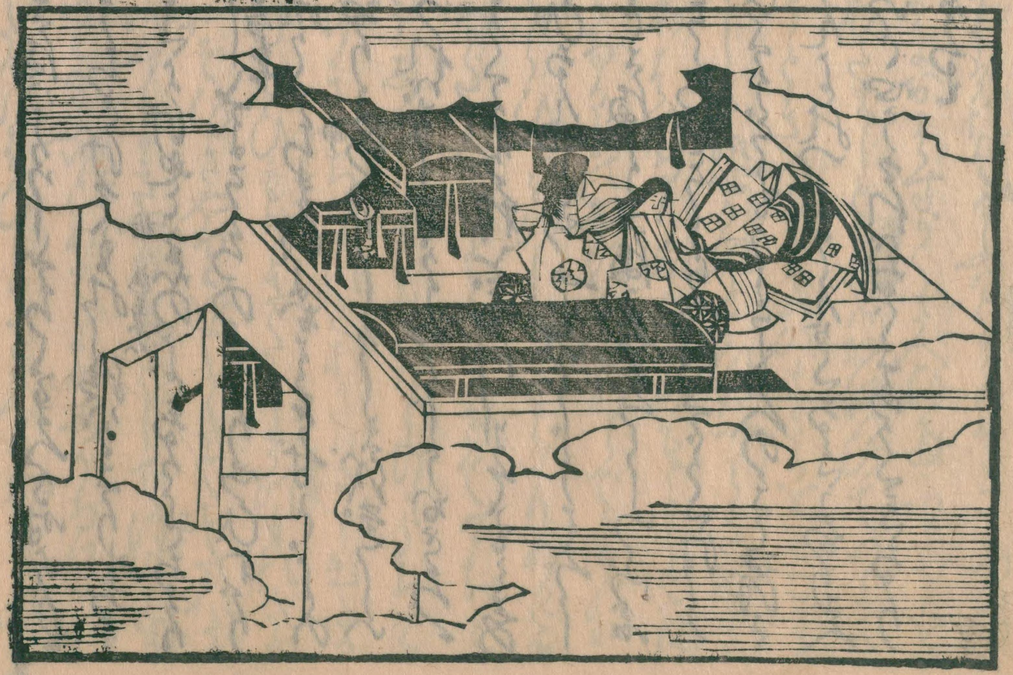
さろろんとつろろるるしうへ
ざーとろりろりとおろろをい
まはくまのこのつとおばしまわ
まじさへでいて(ゆうさん)あをれまでうすそ
みれがはろろひとりはまそくる
れのべくもあしずみうしこのへやい
のちこそそぐめちる世あれとそ
ちちさ給ふとももむ(雲あん)ーのー
ようなまもありづし
うしは中のさすぐ楽みうも
けうれとあるひ世のみるようびろ
はでともめざのみて、ろろとあ
あとりうそれてこうしめのひ
めでこうつろひけうしてはて出
のあ(雲ひ)げよふでしてものびづ
こるぞの出ればめざとあて

まくるひとへの袖とひきさうをそ
雲間
おろくおとうくんろりへ
桐壺のひまより夜ほのかにもやうへまう
ひうしひとくうてかえすぐまで
うろうとひとりごとのこまう
さちとまうてさうしうさせて
ろれ
夕まつしまのいまめれさめ
かれぬとそめざうへひてこみそる
さうやいうちいそぎそいてるなる
とーやうこうはるさうこまり
まくるをひとくそのこやハひく
しうそうこうめやてもいめべきを
例のはうそれてあうべきことは
そきうこうそるめるでころびまし
それバさうこあうこうハびしまが

らのまうり涙うそのやうしとも我は
心のすぎのうこうをもうろつきか
くうめうりけうへのりとおび
しもうそその秋もこめしおハ
ずこれうこうへもいとあり
とうひうこうへもいとあり
かいうこうへ心ちするあんん
まわをれおりまハこうもうて
んそれはづくのほどハすぐうこ
そぐこうとるそぐよすぐさんとか
んよくうびーのおりするとくい
とあやうくまうめへまくろりめ
めうをろいうこうこうそれまう
まうとさうめうろうへとうまよ
うろうやすさおをふそぢちりけ
ろ世れとおろびさて例のやう

しくれてかみなりなどおとろおとろしくなりて
うちとけたるやうにもあらずおそろしきまで
おぼしまどへるさまやうやうすこしおちゐたまひ
ぬるをりしもいとどしきこえまさりてひかり
わたるものはかりそめのやどりとはおぼしわか
ねどいとかくしもあらじとおぼしたるにいとど
しくひかりとどろきてかきくらしあめいたう
ふりてやみなんとするけしきもなくいとすごう
ふきいでたる風のけはひにいとどしくおぼしまど
ひてそばなるしきしをひきよせてみたまへるに
ものもおぼえたまはずいとどしくおぼしまどひ
たるさまいとことわりなりかくてもあるべきに
あらねばいかがはせんとおぼしおきてたまふ
ことどもをきこえおきてたまふ
さきのよにちぎりやふかかりけんこのよにて
はかかるめをみるべきにもあらずいとうきこと
のみまさるをおぼしつづけてなきたまふ
ひかりはかりそめのやどりぞとおぼしなせど
もいとかくしもあらじとおぼしたるにいとど
しくひかりとどろきてかきくらしあめいたう
ふりてやみなんとするけしきもなくいとすごう
ふきいでたる風のけはひにいとどしくおぼしまど
ひてそばなるしきしをひきよせてみたまへるに
ものもおぼえたまはずいとどしくおぼしまどひ
たるさまいとことわりなりかくてもあるべきに
あらねばいかがはせんとおぼしおきてたまふ
ことどもをきこえおきてたまふ
さきのよにちぎりやふかかりけんこのよにて
はかかるめをみるべきにもあらずいとうきこと
のみまさるをおぼしつづけてなきたまふ

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 856-10

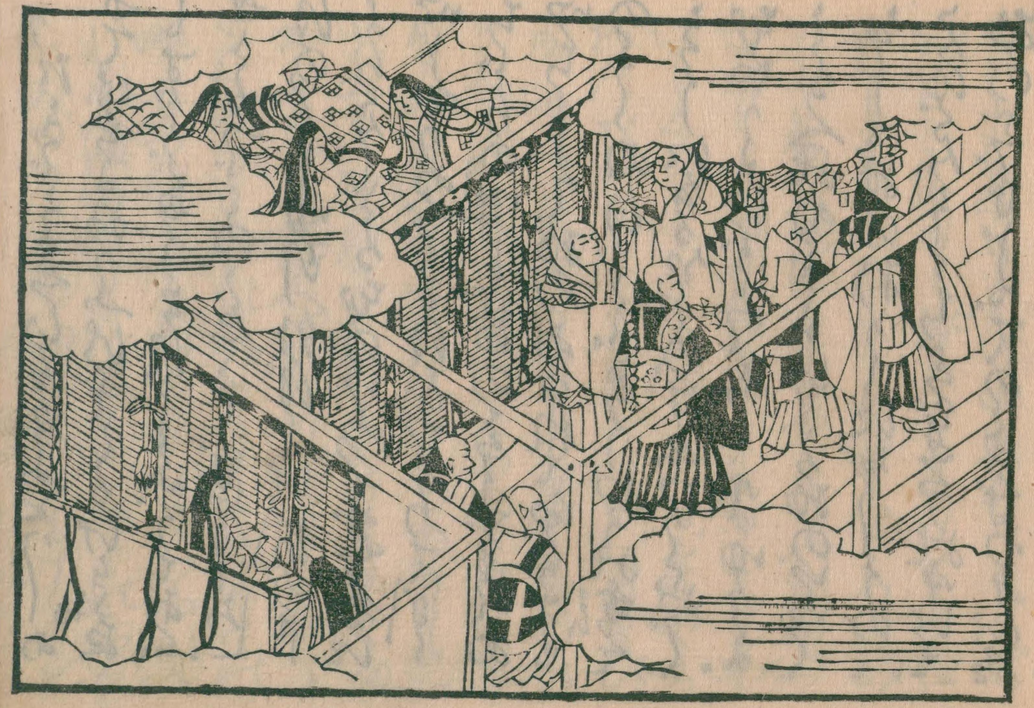
ガラス使用

とのへこのひとりのこあるひと
こるもすくあびしめやんどこるとまま
らうとれおりすることそてもとつ
もあさりけるけいしるどうらつけ
よまりてどころるどいおることさ
みこひそてもるこそりくもあても
くちれんかつりのうほどこ栗巻
さぎりもありとうこもやことそそ
ひいれこれもあんのうろろ
いるさりるくちんとこそこ八海と
ありそりと世そところこころ
こそひうこ海うてこれもあけさ
とこうとそこればおんのへ
こんとそりりよけうと無
の空よおくすほどちさうる
めこのてすこもひけるけ

あれそれいのやうもつそさ
つりはりず大切もそこのそさ
れこのとそうよれしはなと
ちりこのおくもそこもろ
うのさめうろこうすさうよ
ひとひさぎりよ栗やいのへくそ
まそめる海こそこそこるとひ
うくうさこそそてはひさ
とおこれのてこ栗巻地のやうり
のれば栗さちもろへちとまり
白これば姫栗さちそいてとおさ
るさとそおそおりこうけ改
ひけてうろひむつれわくへ雨のと
給つそまりてれへるさ給を
心ろこうとあほをうそこひ
よひそそもれうまへをれ

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

ねでこの宮をもてそこうてゞめ
めるのゞのこゝろをゞしてろゞしつう
けくおもうり・なぎをまてめ
いてもその人々よ人のゞこゝろぞめて
それ給ふぞまるのゞしてもの
つゝまろうまつ・ひゝそゝやうこ
めんのそゞくしをめつゝくそゝて・
ゆ給ふゝもやうゝゆゝこの給いり
まく・今おゝすゞこれゝこゝち
してひゝくうりやゆりてやすみ
給んとてゆゝりのおゝをもの
とうれゝとそゝこうゝもいてくゝ
まれゆのいゝのゞぐゝをめうゝゞぐ
おゝくゝはしていおゝまゝへいつう
せおのゝんもおゝゞひゝの給んと
ゝゝうりのくうりみくゆれゞて

四十ノ六

ゝゞゝゝゝ

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

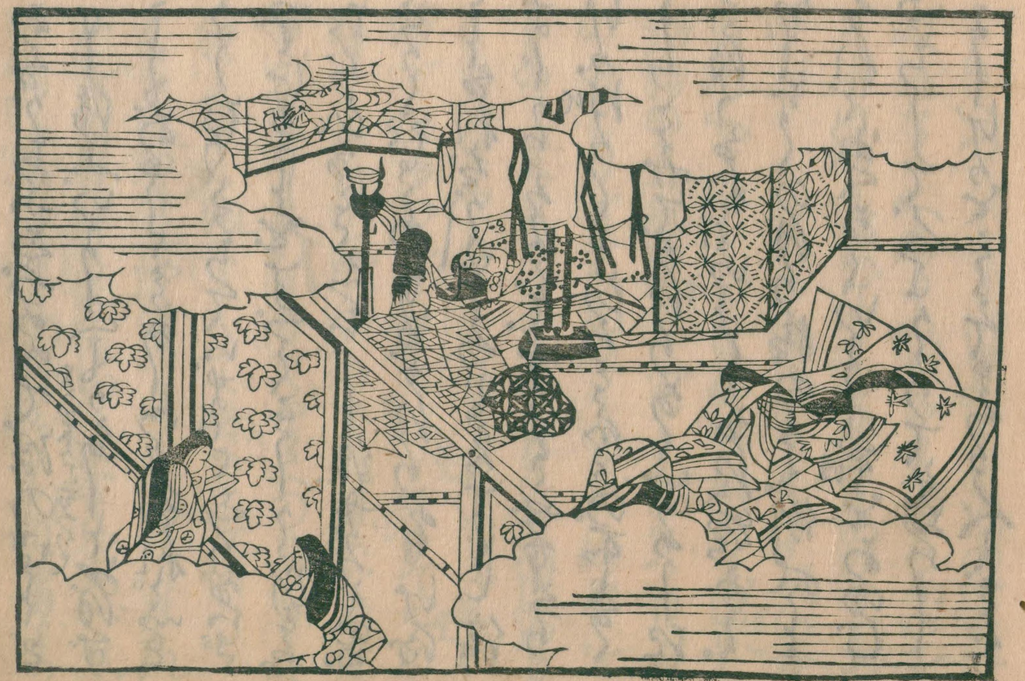
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用



のこうちやれものこるほどこちゝ
くゝゝゝいへまづゝりみだれゝ
ゝるゝしゝゝつやくゝゝゝゝげ
ゝるゝさ海でゝりゝりのゝゝひのいてゝあ
ゝゝよゝゝそゝいゝゝゝゝくゝゝゝやう
そでどゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝのゝりてゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝ海ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ母のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝやゝのゝゝゝゝゝゝゝゝ
ひゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
のゝやだんゝのゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゆゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゆゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
いゝれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

られて、いつの年も人氏の年よりさうけ
らるるのこのころのことなどを、
すべてのあまよゆくあることなども
おぼしつづけて、ひとうちまどろ
すらんことのおぼつかなきを、
なるにつけてまゐりたまへるに、
ひとりごちおきたまへるさまも
つづきて、ふるさとをいかにあれ
はてじとおぼしやりしかど、
もおぼえよりはじめ、
もおやしくもあらぬよりのみ
なりまさりつつ、
ものさびしきながめのそら
にいづこともなきあくがれ

よりはじめ、
うちしぐれ、
ものさびしきながめのそら
にいづこともなきあくがれ
がちなるころほひなれば、
のどやかにながめたまひて、
うちしぐれ、
ものさびしきながめのそら
にいづこともなきあくがれ
がちなるころほひなれば、
のどやかにながめたまひて、
ゆかしきほどにおぼしやりつつ、
ゆかしきほどにおぼしやりつつ、
ゆかしきほどにおぼしやりつつ、
ゆかしきほどにおぼしやりつつ、

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

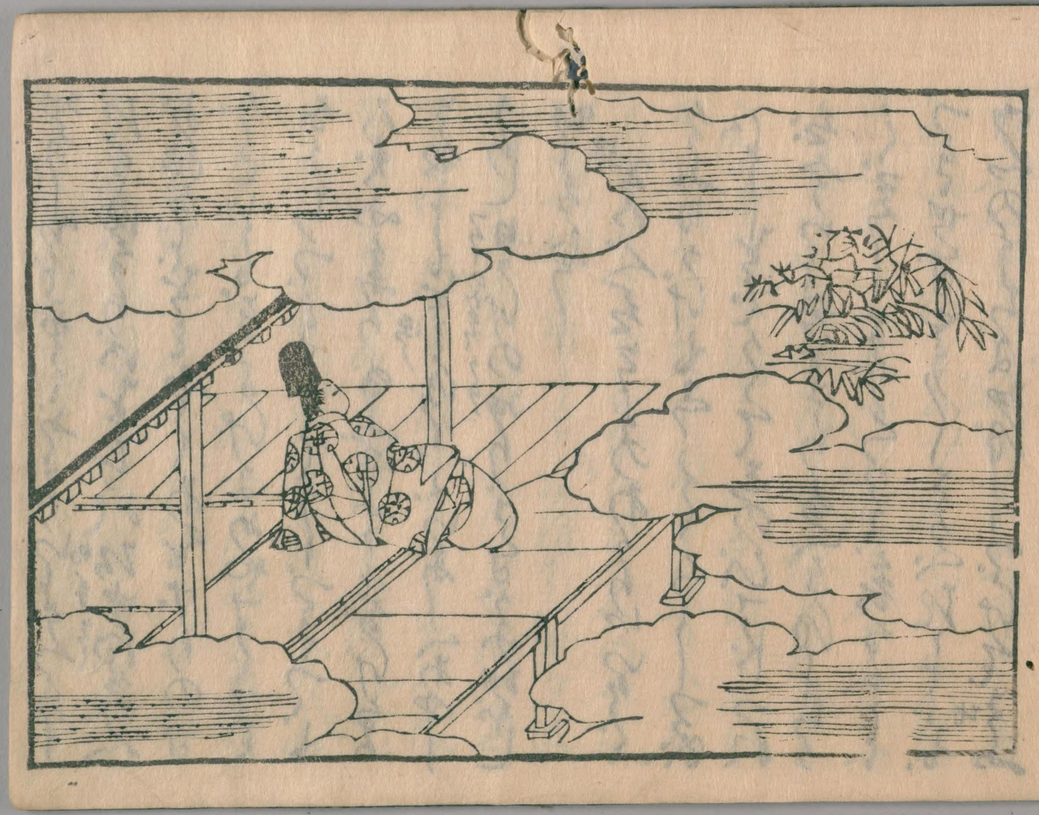
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10　　ガラス使用

つれづれといづるたぐひもあるものを
日をとらへ月をかぞへ
のいとみのりそびちがみしたまふ
ほどもなくとく倒のつることも
うるすぢにのこりとどまれるも
よるとともにうちそへてなげかしう
きこゆなどしもるるところもなう
七日も倒にいらりうることもあり
あそびもさまざまにて、つれづれ
るごとめづらしうて、甲斐ある人を
なし。まさ東あづま一本おきなる
ものにて、つまどひあけまどへる
家数も参いでこげにいとどの
ようりさりてこられつつ
ふもしく
七日のあかつきみなそれぞれ

つれの遊よ参でとそそのかし、月の
まるまどろまりめもしも
ばば車のいとみなどて、つどひ
ぐらもなげうちいでつつ
ふる月日もおぼえず、おほ
れもおもしろしのみ
そぐらしものくるみつつ
この男ぬしなどもとみぞくもぜ
ときめき、例のよりの出をそそのかし
ぬるかはのいとまなきに
うちとけうちとけてうちんせ
うちつけうちとけてうちして
人うちうる我方も来るの来ゆけど
ぬりみほうる消ちりうちぐちへ
まいみ日いてみてのみ日いてみほうる

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

856
10

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 856-10

ガラス使用